



認定研修施設 更新申請の手引き

※手引き中の画面はサンプルであり、実際の画面と異なる場合があります。予めご了承ください。

※本手引きは予告なく改訂される場合があります。常に最新のものをご確認ください。

1. 目次

		ページ
1	目次	1
2	Web 登録・印刷	3
	① JBCT 施設ページ画面にアクセスする	3
	② (施設パスワードを失念している場合)	3
	③ JBCT 施設ページにログインをする	4
	④ 「認定施設申請」を選択する	5
	⑤ 認定施設申請 トップページ	5
	⑥ 申請1 基本情報	7
	⑦ 申請2 診療教育体制	9
	⑧ 編集登録完了にする	12
	⑨ 印刷	13
	⑩ 提出書類の確認	14
3	郵送	15
4	指導責任者が表示されないとき	16

※本年度の更新申請日程、更新申請資格、更新申請書類については、
本機構ホームページにてご確認ください。

トップページの認定研修施設をクリック



更新申請の受付 : https://www.jbct.jp/facilities/r_apply.html

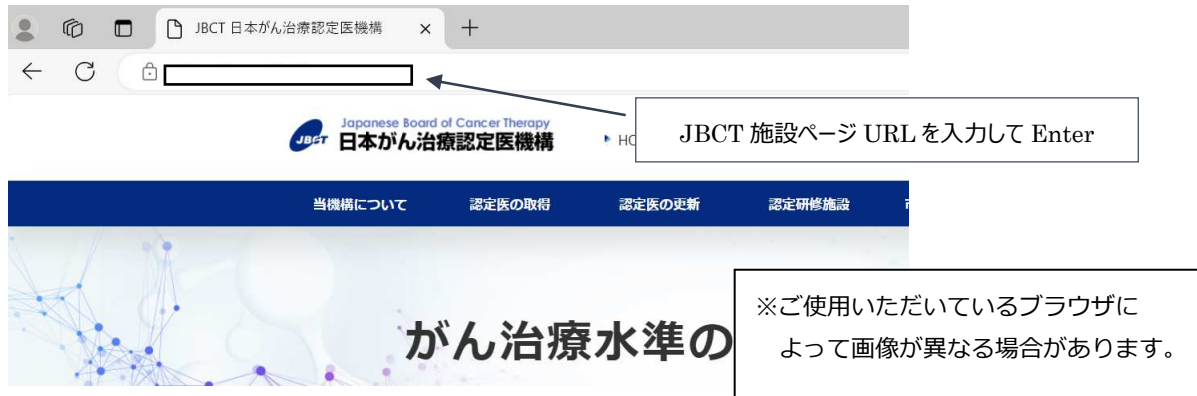
更新申請資格 : https://www.jbct.jp/facilities/r_qualification.html

更新申請書類 : https://www.jbct.jp/facilities/r_paperwork.html

2. Web 登録・印刷

① JBCT 施設ページ画面にアクセスする

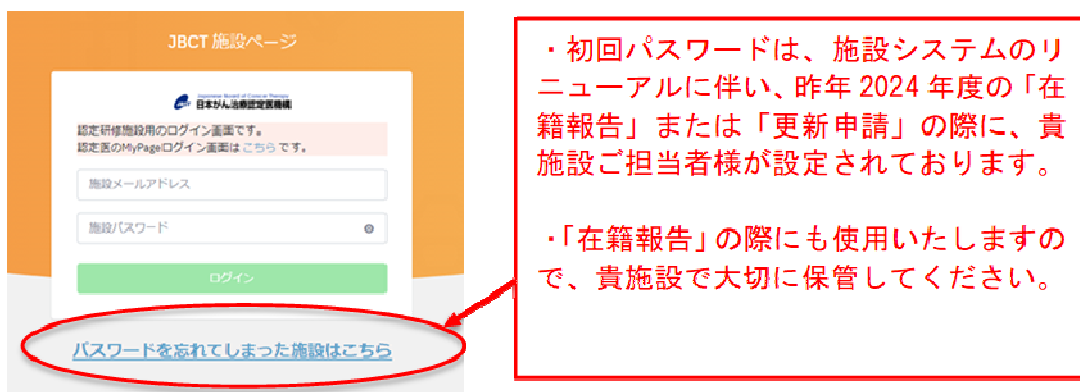
URL : <https://facility.jbct.jp/login>



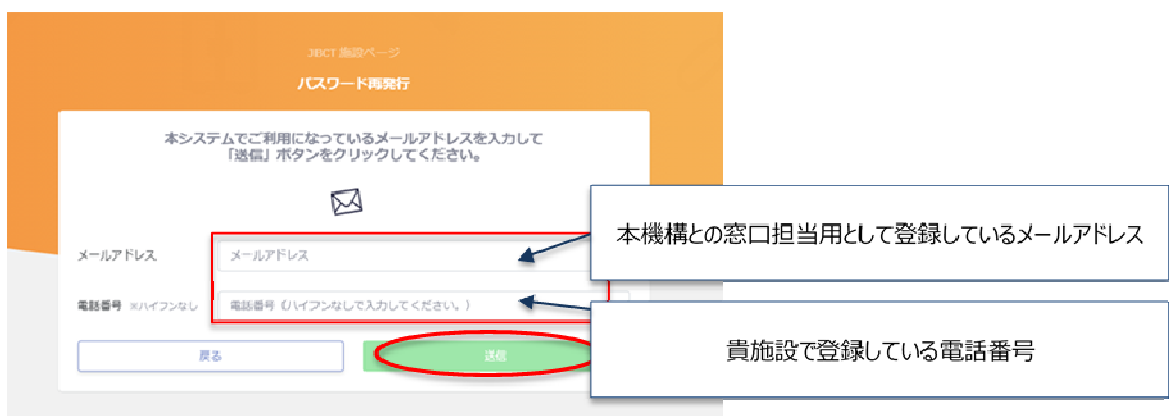
② 注) 施設パスワードを失念している場合のみ。

(施設パスワードがわかる場合は、③に進んでください。)

1) 「パスワードを忘れてしまった施設はこちら」をクリック。

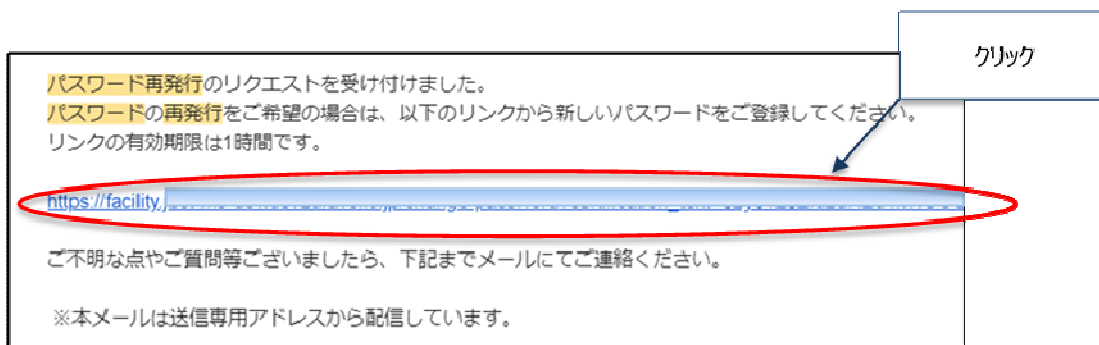


2) 画面に従って、登録メールアドレス・電話番号を入力して「送信」ボタンをクリック。

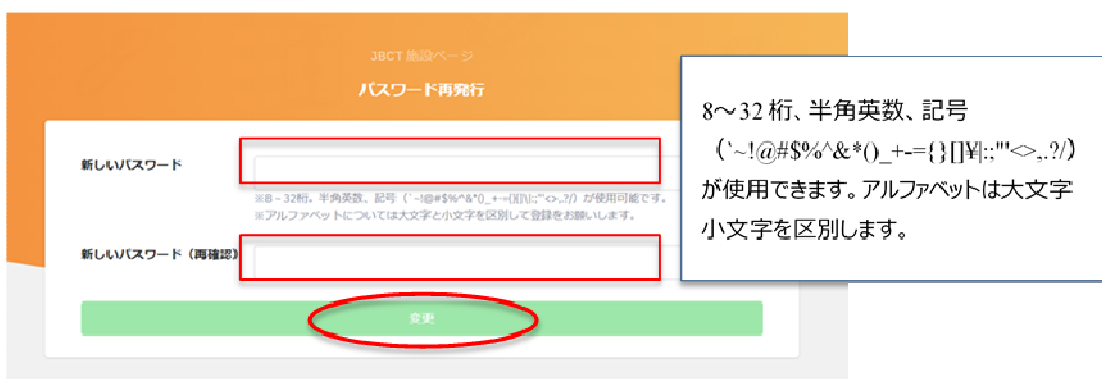


※登録メールアドレスが無効（使用できない）場合は、事務局（c-info@imic.or.jp）までご連絡ください。

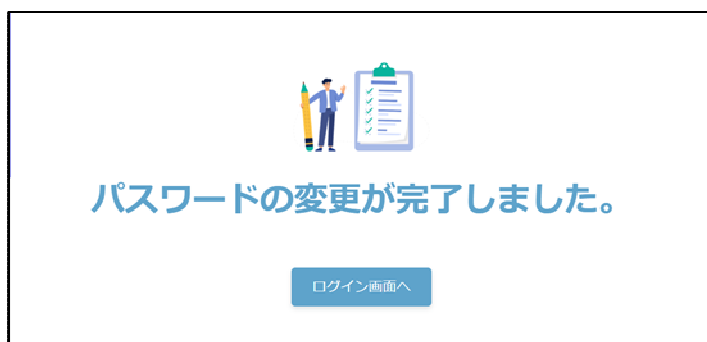
- 3)「【日本がん治療認定医機構】施設パスワード再発行のご案内」メールが自動配信されるので、本文中の URL をクリック。



- 4)パスワード再発行画面にて、パスワードを登録し「更新」ボタンをクリック。



- 5)画面上に「パスワードの変更が完了しました」と表示されたらパスワード発行完了です。



③ JBCT 施設ページにログインをする



④ 「認定施設申請」を選択する



⑤ 認定施設申請 トップページ

申請 1・申請 2 を登録してください。

* 全がん協加盟施設/特定機能病院/がん診療連携拠点・地域がん診療病院等^(※)は登録画面に **申請 1** のみ表示されます。登録は、**申請 1** のみです。

編集 ボタンをクリックすると、入力画面が開きます。

※申請書ごとに、入力内容を保存することができます。一度にすべての登録を済ませる必要はありません。

※編集登録完了ボタンをクリックするまでは、何度でも登録内容を編集することができます。

編集登録完了 ボタンをクリックすると、印刷ボタンが有効になります。

※編集は不可となります。

印刷 ボタンをクリックし、**表紙宛名・申請 1・申請 2** を印刷してください。

* 全がん協加盟施設/特定機能病院/がん診療連携拠点・地域がん診療病院等^(※) は **表紙宛名・申請 1** のみです。

※全がん協加盟施設/特定機能病院/がん診療連携拠点・地域がん診療病院等とは、以下(1)(2)(3)を指します。

(1) 全国がんセンター協議会加盟施設

(2) 特定機能病院

(3) 都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、
特定領域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院及び小児がん拠点病院

但し、厚生労働省が指定する拠点病院のみとします。 都道府県が独自に指定する拠点病院は上記に該当しません。

認定施設トップページ

<Web登録>

① [編集]ボタンを押して各々の項目を入力してください。

② [編集登録完了]ボタンを押して、「各申請書」「表紙・宛名」を印刷してください。

* 編集は何度でも可能ですが、[編集登録完了]ボタンを押すと編集不可となりますので十分ご確認の上、押下ください。

表紙・宛名			印刷 未
申請1	基本情報	編集 未	印刷 未
申請2	診療・教育体制	編集 未	印刷 未

* [編集登録完了]ボタンを押すと、編集不可となります。

編集登録完了

①【編集】

申請書ごとに **編集** ボタンをクリックし、入力してください。

※同画面下の**編集登録完了** ボタンをクリックするまでは、何度でも内容を変更することができます。

編集ボタンの右側には各申請書の**登録** ボタンをクリックした日付が表示されます。

②【編集登録完了】

申請 1 申請 2 の登録が完了すると、**編集登録完了** ボタンをクリックできます。

※**編集登録完了** ボタンをクリックすると、編集不可となります。登録内容を十分ご確認の上、押下ください。

※全がん協加盟施設/特定機能病院/がん診療連携拠点・地域がん診療病院等(※)は、申請 1 のみです。

③【印刷】

編集登録完了 ボタンをクリックすると、印刷できるようになります。

表紙宛名・申請 1・申請 2 をすべて印刷してください。

※申請期間中、何度でも印刷することができます。

※全がん協加盟施設/特定機能病院/がん診療連携拠点・地域がん診療病院等(※)は、申請 2 はありません。

⑥ 申請1 基本情報

申請1 登録

申請1 基本情報

認定番号	50001
カテゴリー	その他
施設名	がん治療大学センター
施設名ふりがな	がんちりょうだいがくせんたー
歯科限定	歯科限定でない
郵便番号	1600016
都道府県	東京都
住所市区町村名	新宿区信濃町
住所丁目番地建物	35abc
病院長氏名 *	姓 がん治 名 一郎

編集不可です。

「施設名」「住所」に変更がある場合には、「名称変更届」をご提出ください。

<https://www.jbct.jp/facilities/change.html>

【病院長氏名】

変更がある場合は、更新してください。

診療科目
外科 整形外科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 皮膚科 肛門科 眼科 耳鼻咽喉科 歯科口腔外科 形成外科 皮膚科 放射線科 麻酔科 病理診断科 総合内科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科 糖尿病内科 腎臓内科 内分泌代謝科 神経内科 血液内科 感染症科

病床数 880 床

常勤 医師数 * 100 名

※「がん治療認定医」については、[こちら](#)から検索してください。

うち、がん治療認定医数 * 35 名

常勤 歯科医師数 * 10 名

※「がん治療認定医」（歯科医師数）については、[こちら](#)から検索してください。

うち、がん治療認定医数（歯科医師数） * 1 名

代表指導責任者（常勤1名）氏名 * がん治三郎

※「指導責任者リスト」ボタンを押して代表指導責任者を1名選択してください。

認定番号 0710000

指導責任者リスト

現在の登録内容が表示されています。
内容に変更・誤りがある場合は、更新してください。

現在の代表指導責任者が表示されています。変更がある場合は、「指導責任者リスト」より選択してください。
指導責任者が表示されないときは、
☞（手引き p16）「5. 指導責任者が表示されないとき」をご確認ください。

指導責任者リスト

	認定番号	氏名
選択	0710000	がん治三郎
選択	0810000	がん治四郎
選択		
選択		
選択		

常勤看護師数*
(准看護師含む) 350 名

常勤薬剤師数* 25 名

本機構との窓口氏名 姓 がん治 名 太郎

本機構との窓口所属部署名 医局

本機構との窓口電話番号 0353617105

メールアドレス jbcct-test+f-1050@avelio.co.jp
本機構からの送信メールの宛先となります

現在の登録内容が表示されています。
内容に変更・誤りがある場合は、更新してください。

メールアドレスの変更は、「メールアドレス変更届」
からお手続きください。

HP掲載情報

以下の欄は、認定研修施設として認められた際に、本機構ホームページの 認定研修施設一覧 の施設ごとのページに「がん治療認定医申請にかかわる問い合わせ先」として掲載いたします。
がん治療認定医申請者への対応が可能な担当者を登録してください。事務担当者でも可とします。
掲載できない情報は登録しないでください。

HP掲載用 担当者氏名 姓 がん治 名 花子

HP掲載用 担当者所属 総務課

HP掲載用 電話番号 0353617105

HP掲載用 メールアドレス c-info@imic.or.jp

現在の登録内容が表示されています。
内容に変更・誤りがある場合は、更新してください。

H P 掲載用メールアドレスの変更は、「変更届」
からお手続きください。

☐ 内容を確認し保存する

戻る

登録

*は必須項目です。

未入力箇所がある場合は、チェックボックスが有効になりません。

☒ 内容を確認し保存する

戻る

登録

「処理が完了しました。」と表示されたら、「申請 1」の登録は完了です。
「編集登録完了」ボタンを押すまでは何度でも編集できます。

処理が完了しました。|

OK

⑦ 申請2 診療教育体制

* 全がん協加盟施設/特定機能病院/がん診療連携拠点・地域がん診療病院等 は入力不要(表示されません)。⑧編集登録完了にするの項へ

申請2 登録情報			
1.がん患者数	① 全国がん登録数が年間100例以上ある	☐ はい ☐ いいえ	貴施設で算出可能な直近の1年間とする
	② 全国がん登録数 症例数		年間の件数を入力ください。貴施設で算出可能な直近の1年間(例:4月~翌3月)
	③ 希少疾患の専門施設である 下記から選択してください	☐ はい ☐ いいえ	注:希少疾患のがん登録数について審査基準を確認ください
2.研修カリキュラム	① 研修の内容について理解し、実施している。	☐ はい ☐ いいえ	「いいえ」の場合、は事務局までメールにてご連絡ください。該当する専門医が不在の場合は申請不可です。
	① 常勤の日本外科学会外科専門医が1名以上在籍している。 外科専門医名 専門医認定番号	☐ はい ☐ いいえ	【提出書類】 日本外科学会ホームページから専門医名簿のコピー(該当箇所)にマーキング
	② 悪性腫瘍の手術件数(生検を含む)が年間50件以上ある。	☐ はい ☐ いいえ	貴施設で算出可能な1年間とする。
3.手術療法の体制	③ 悪性腫瘍の手術件数(生検を含む) 例		年間の件数を入力ください。貴施設で算出可能な直近の1年間(例:4月~翌3月)
	④ 希少疾患の専門施設である 下記から選択してください	☐ はい ☐ いいえ	注:希少疾患の手術件数については審査基準を確認ください
	⑤ 常勤または非常勤の日本病理学会病理専門医が1名以上在籍し、術中迅速診断が可能である。(歯科の施設の場合には、口腔病理専門医も可) 病理専門医名 専門医認定番号	☐ はい ☐ いいえ	【提出書類】 1.日本病理学会ホームページから専門医名簿のコピー(該当箇所)にマーキング 2.迅速診断依頼書および病理組織迅速診断報告書(実際に使用した同一患者の1例分)
	⑥ 上記⑤が「いいえ」の場合 下記の施設と連携し、術中迅速病理診断が可能である。 (術中迅速病理診断は連携でも可とする) 連携施設名	☐ はい ☐ いいえ	注:「いいえ」の場合、申請不可 【提出書類】 1.連携を証明するもの(検体検査委託契約書等) 2.迅速診断依頼書および病理組織迅速診断報告書(個人情報にマスキング)(実際に使用した同一患者の1例分)
	① 緩和ケア診療加算に関する施設基準を満たしている。	☐ はい ☐ いいえ	
	② 上記①が「いいえ」の場合 他職種による緩和ケアチームが整備されている。当該チームには必ず緩和ケアに関する専門的な知識および技能を有する常勤または非常勤の医師および看護師がそれぞれ1人以上含まれている。	☐ はい ☐ いいえ	該当する場合は、【提出書類】を同封して提出ください。 ⑩提出書類の項もご確認ください。

該当する場合は、 選択してください。	③ 上記①が「いいえ」の場合 定期的に病棟回診やカンファレンスを行っている。検討内容 および出席者については記録を残し、関係者間で共有してい る。	☐ はい ☐ いいえ	【提出書類】 過去3回分の議事録のコピー（カン ファレンス名/開催日時/開催場 所/出席者の職、氏名/検討内容が 記載されていること）
4.緩和ケアの体制	④ 上記②または③が「いいえ」の場合、以下に該当する。 下記から選択してください	☐ はい ☐ いいえ	注：「いいえ」の場合、申請不 可
入力必須です。	⑤ 上記④が「はい」の場合 他施設との緊密な連携により、標準的な緩和ケアが適切に行 える 連携施設名 年間連携数	☐ はい ☐ いいえ	注：「いいえ」の場合、申請不 可
5.救急の体制	⑥ 常勤医師および歯科医師のうち、「がん等の診療に携わる 医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針（平成29年12月 1日付け健発1201第2号厚生労働省健康局長通知の別添）に 進出した緩和ケアに関する研修」の受講修了者数 名	☐ はい ☐ いいえ	各項目について、「はい」または 「いいえ」を選択してください。
該当する場合は、 入力してください。	⑦ ① ICUまたはHCUがある ② 上記①が「いいえ」の場合 夜間・休日以下のすべてについて、対応が可能である。 血液・生化学検査の実施、レントゲン撮影、CT撮影 ③ 上記①②が「いいえ」の場合、以下に該当する。 下記から選択してください ④ 上記③が「はい」の場合 他施設との緊密な連携により、24時間体制での緊急事態へ の対応が適切に行える。 連携施設名 年間連携数	☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ	該当する場合は、【提 出書類】を同封して提 出ください。 ⑩ 提出書類の項も ご確認ください。
6.放射線療法の体制	① 常勤または非常勤の日本医学放射線学会放射線治療専門 医（歯科病院の場合、日本歯科放射線学会専門医でも可）が 1名以上在籍し、自施設での放射線治療が可能である。 専門医名 専門医認定番号 ② 上記①が「いいえ」の場合 下記の施設と連携し、放射線治療が可能である。 連携施設名	☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ	【提出書類】 日本医学放射線学会（または、 日本歯科放射線学会）ホームベ ーページから専門医名簿のコピー （該当箇所マーキング） 注：「いいえ」の場合、申請不 可
7.相談支援・情報提供	① がん患者さんおよびその家族に対する相談支援センター がある。 ② 上記①が「いいえ」の場合 がん患者さんおよびその家族に対する相談支援体制がある。 ③ 提供可能ながん医療について、ホームページまたはパン フレットなどでわかりやすく説明している。 ④ がん医療について他施設と連携しておこなっている。	☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ	【提出書類】 ホームページの該当箇所のプリ ントアウトまたはパンフレッ ト、リーフレットなど 注：「いいえ」の場合、申請不 可 【提出書類】 ホームページの該当箇所のプリ ントアウトまたはパンフレッ ト、リーフレットなど 注：「いいえ」の場合、申請不 可 【提出書類】 ホームページの該当箇所のプリ ントアウトまたはパンフレッ ト、リーフレットなど 【提出書類】 ホームページの該当箇所のプリ ントアウトまたはパンフレッ ト、リーフレットなど

各項目について、「はい」または「いいえ」を選択してください。

該当する場合は、
入力してください。

8.薬物療法の体制	① 常勤または非常勤の日本臨床腫瘍医が1名以上在籍し、自施設での薬物治療が可能である。 がん治療薬物療法専門医名 専門医認定番号	☐ はい ☐ いいえ	【提出書類】 日本臨床腫瘍学会ホームページから専門医名簿のコピー（該当箇所にマーキング）
	② 上記①が「いいえ」の場合 常勤または非常勤の日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医は在籍しないが、自施設での薬物治療が可能である。	☐ はい ☐ いいえ	注：「いいえ」の場合、申請不可
9.定例のカンファレンス開催	① がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう腫瘍カンファレンスを定期的（1回/月程度）に開催し、毎回必ず記録の上、関係者間で共有している。	☐ はい ☐ いいえ	注：「いいえ」の場合、申請不可 【提出書類】 過去3回分の議事録のコピー（カンファレンス名/開催日時/開催場所/出席者の職、氏名/検討内容が記載されていること）
	② 上記①が「はい」の場合 複数診療科の担当医師および専門的多職種に従事者が参加している。	☐ はい ☐ いいえ	注：「いいえ」の場合、申請不可
10.医療安全対策	① 医療安全管理部門が設置されている。	☐ はい ☐ いいえ	注：「いいえ」の場合、申請不可
	② 医療安全のための患者窓口が設置されている。	☐ はい ☐ いいえ	注：「いいえ」の場合、申請不可
11.治験・臨床試験等の施行	① 当該医療の適応の安全性や妥当性、倫理性について検討するための組織(治験審査委員会、倫理審査委員会、薬事委員会等)が設置されている。	☐ はい ☐ いいえ	注：「いいえ」の場合、申請不可
	② 上記①の組織での検討内容および出席者については、記録を残し、関係者間で共有している。	☐ はい ☐ いいえ	注：「いいえ」の場合、申請不可 【提出書類】 SOPまたは過去1回分の議事録のコピー
	③ 医薬品の臨床試験実施に関する基準（Good Clinical Practice：GCP）に対するガイドラインが適用されたがんの臨床試験に参加したことがある、あるいは参加が決定している。	☐ はい ☐ いいえ	「はい」の場合、契約書等のコピー（マスキング可）
	④ 上記③が「いいえ」の場合 治験・がんの臨床試験等の実施を受け入れる体制がある。	☐ はい ☐ いいえ	【提出書類】 治験・がんの臨床試験等の実施を受け入れる体制を示すSOP、規程等のコピー 例）治験にかかるSOP、治験規程、治験会社との契約書など 注：「いいえ」の場合、申請不可
	⑤ 上記④が「はい」の場合 CRC（治験コーディネーター）の設置状況について回答のこと （例1）CRCは専任●名常勤しています。 （例2）治験にかかるSOPに基づき、～配置しています。 （例3）常勤はしておりませんが、契約書の通り治験実施時に治験会社より●名派遣されて行きます。		* 回答必須
	⑥ 上記④が「はい」の場合 がんゲノム情報に基づいた治験への誘導など取り組みがあれば記載のこと 		11.④が「はい」の場合で左記の取り組みがあれば記載ください。回答は任意です。 （回答任意）

各項目について、「はい」または「いいえ」を選択してください。

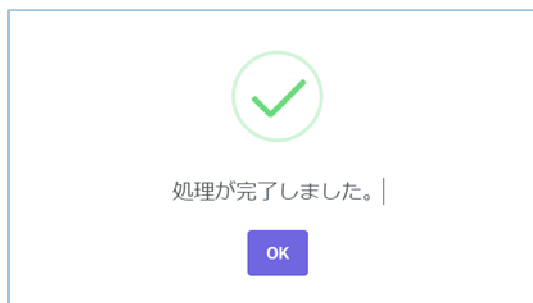
12.セカンドオピニオン	① 対応可能ながんについて、専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示できる、または、他施設におけるセカンドオピニオンを適切に紹介できる体制を整備している。	☐ はい ☐ いいえ	注：「いいえ」の場合、申請不可 【提出書類】 ホームページの該当箇所のプリントアウトまたはパンフレット、リーフレットなど
	② 提供できるセカンドオピニオンの提示体制、または、他施設におけるセカンドオピニオンを適切に紹介できる体制について ホームページまたはパンフレットなどでわかりやすく説明している。	☐ はい ☐ いいえ	注：「いいえ」の場合、申請不可 【提出書類】 ホームページの該当箇所のプリントアウトまたはパンフレット、リーフレットなど

保存せずに戻る

入力内容を保存

該当する場合は、【提出書類】を同封して提出ください。
⑩ 提出書類の項もご確認ください。

「処理が完了しました。」と表示されたら、「申請2」の登録は完了です。
「編集登録完了」ボタンを押すまでは何度でも編集できます。



⑧ 編集登録完了にする

認定施設トップページ

<Web登録>
① [編集]ボタンを押して各々の項目を入力してください。
② [編集登録完了]ボタンを押して、「各申請書」「表紙・宛名」を印刷してください。
* 編集は何度でも可能ですが、[編集登録完了]ボタンを押すと編集不可となりますので十分ご確認の上、押下ください。

表紙・宛名			印刷	未
申請1	基本情報	編集	2024/9/2 13:44:19	印刷 未
申請2	診療・教育体制	編集	2024/9/2 13:49:22	印刷 未

* [編集登録完了]ボタンを押すと、編集不可となります。

編集登録完了

「編集登録完了」ボタンを押すと編集不可となります。
十分ご確認の上、押下ください。
「編集登録完了」ボタン押下後に、印刷可能になります。

⑨ 印刷

認定施設トップページ

<Web登録>

① [編集]ボタンを押して各々の項目を入力してください。

② [編集登録完了]ボタンを押して、「各申請書」「表紙・宛名」を印刷してください。

* 編集は何度でも可能ですが、[編集登録完了]ボタンを押すと編集不可となりますので十分ご確認の上、押下ください。

表紙・宛名			印刷	未	
申請1	基本情報	編集	2024/9/2 13:44:19	印刷	未
申請2	診療・教育体制	編集	2024/9/2 13:49:22	印刷	未

*[編集登録完了]ボタンを押すと、編集不可となります。

編集登録完了

③【印刷】

表紙宛名・申請 1・申請 2 をすべて印刷してください。

※申請期間中、何度でも印刷することができます。

※全がん協加盟施設/特定機能病院/がん診療連携拠点・地域がん診療病院等(※)は、申請 2 はありません。

<表紙印刷見本>

【024-表紙
認定番号
施設名 がん治療大学センター

日本がん治療認定医機構
2024年度 認定研修施設 更新申請書表紙

日本がん治療認定医機構
資格審査委員会 委員長殿

当施設は、日本がん治療認定医機構 認定研修施設に申請いたします。

施設名 _____
病院長氏名 _____

2024年 月 日

申請1
基本情報

申請2
診療・教育体制

【図表内容に
応じて提出が
必要となる書
類】

※各項目の該当箇所をマスキングをしてください。

3①日本外科学会ホームページから専門医名簿のコピー

3②日本病理学会ホームページから専門医名簿のコピー

6①日本臨床放射線学会（または日本放射線科連合会）ホームページから専門医名簿のコピー

6②日本臨床腫瘍学会ホームページから専門医名簿のコピー

※提出いただく書類の右側に以下の各番号を記載すること。※記載できない情報がある場合は、当該箇所をマスキング（塗りつぶし）してください。

3③④【必須】迅速診断依頼書および病理組織迅速診断報告書（1例）

3⑤⑥迅速診断依頼書の連携を証明するもの（検体検査委託契約書等）

4②緩和ケアカンファレンスの過去3回分の議事録のコピー

7①がん患者に対する相談支援センターについて説明しているホームページまたはパンフレットのコピー

7②がん患者に対する相談支援体制について説明しているホームページまたはパンフレットのコピー

7③提供可能ながん治療について説明しているホームページまたはパンフレットのコピー

7④がん医療の他施設との連携について説明しているホームページまたはパンフレットのコピー

9①がんセンターボードあるいは腫瘍カンファレンスの過去3回分の議事録のコピー

11②【必須】治療審査委員会の標準業務手順書（SOP）または過去1回分の議事録のコピー

11③がんの臨床試験参加の契約書等のコピー（1例）

11④治験 - がんの臨床試験等の実施を受け入れる体制を示す、規程等のコピー

12①【必須】セカンドオピニオンを提示できることを説明しているホームページまたはパンフレットのコピー

12②【必須】提供できるセカンドオピニオンの提示体制または他施設に紹介できる体制について説明しているホームページまたはパンフレットのコピー

申請書類提出日・施設名・病院長氏名を記入してください（ゴム印可）。

病院長公印を押印ください（個人印不可）。

例



表紙のチェック表にチェックを付け、申請書類一式がそろっていることを確認してください。➡次項⑩提出書類もご確認ください。

⑩ 申請書類・添付書類の確認

	提出する申請書類	(a) システムで 登録・ 印刷	(b) ご自身 で 用意	(よくお読みください) 作成時の注意事項	
1	表紙	○	—	申請日、施設名、病院長氏名の記入(ゴム印可) 病院長の公印要(個人印不可)	
2	申請1(基本情報)	○	—		
3	申請2(診療・教育体制)	○	—		
申請2の回答に応じて提出が必要となる添付書類	3 手術療法の体制	3①日本外科学会ホームページから専門医名簿のコピー	—	○	名簿の該当箇所にマーカーしてください。
		3⑤日本病理学会ホームページから専門医名簿のコピー	—	○	名簿の該当箇所にマーカーしてください。
		3⑤⑥ 必須 迅速診断依頼書および病理組織迅速診断報告書	—	○	実際に使用した依頼書・報告書のセット 1 例分(同一患者のもの)であること。 迅速診断であることが明記されていること。 個人名等個人識別情報はマスキングする(但し、依頼書と報告書がセットであることがわかるよう病理番号やオーダーID など判別できるものを残すこと)
		3⑥術中迅速病理診断依頼書の連携を証明するもの(検体検査委託契約書等)	—	○	
	4 緩和ケアの体制	4③ 緩和ケアカンファレンスの過去 3 回分の議事録のコピー	—	○	必須項目 1)カンファレンス名/2)開催日時/3)開催場所/4)出席者の職、5)氏名/検討内容 パソコンで作成した文書が好ましい。手書きのものについては判読不能なものは不可。電子カルテ等のカンファレンス記録も可(但し、いずれも必須項目 1)～5)が含まれていること)
	6 放射線療法の体制	6①日本医学放射線学会(または日本歯科放射線学会)ホームページから専門医名簿のコピー あるいは 専門医認定証のコピー	—	○	名簿の該当箇所にマーカーしてください。
	7 相談支援情報提供の体制	7① がん患者に対する相談支援センターについて説明しているホームページまたはパンフレットのコピー	—	○	
		7② がん患者に対する相談支援体制について説明しているホームページまたはパンフレットのコピー	—	○	
		7③ 提供可能ながん医療について説明しているホームページまたはパンフレットのコピー	—	○	提供可能な「がん医療」についてわかるものであること。
		7④ がん医療の他施設との連携について説明しているホームページまたはパンフレットのコピー	—	○	「がん医療」の他施設連携の内容であること。
	8 薬物療法の体制	8①日本臨床腫瘍学会ホームページから専門医名簿のコピー	—	○	名簿の該当箇所にマーカーしてください。
	9 定例のカンファレンス開催	9① 必須 腫瘍カンファレンスの過去 3 回分の議事録のコピー	—	○	必須項目 1)カンファレンス名/2)開催日時/3)開催場所/4)出席者の職、5)氏名/検討内容 パソコンで作成した文書が好ましい。手書きのものについては判読不能なものは不可。電子カルテ等のカンファレンス記録も可(但し、いずれも必須項目 1)～5)が含まれていること)

1-1 治験・臨床試験等の施行	11② 必須 治験審査委員会等の標準業務手順書(SOP)または過去1回分の議事録のコピー	—	○	当該医療の適応の安全性や妥当性、倫理性について検討するための組織(治験審査委員会、倫理審査委員会、薬事委員会等)の標準業務手順書または過去1回分の議事録のコピー
	11③ がんの臨床試験参加の契約書等のコピー	—	○	公開できない情報が含まれている場合には、当該箇所をマスキング(塗りつぶし)してください。但し、がんの臨床試験であることがわかる部分を残してください。
	11④ 治験・がんの臨床試験等の実施を受け入れる体制を示す、規程等のコピー	—	○	治験にかかる SOP、治験規定、治験会社との契約書のコピーなど
1-2 セカンドオピニオン	12① 必須 セカンドオピニオンを提示できることを説明しているホームページまたはパンフレットのコピー	—	○	
	12② 必須 提供できるセカンドオピニオンの提示体制または他施設に紹介できる体制について説明しているホームページまたはパンフレットのコピー	—	○	

3. 郵送

表紙・申請書1・申請書2・提出書類 一式を郵送してください。

※全がん協加盟施設/特定機能病院/がん診療連携拠点・地域がん診療病院等は、**表紙**・**申請書1**のみのご提出になります。

印刷した**宛名**を使用ください。
表紙の2枚目に出力されます。

＜申請の注意事項＞

- Web 登録画面へのログイン期限後は、**閲覧・登録・印刷**は一切できませんのでご注意ください。
- 提出書類は、全て A4 サイズに揃え、コピーあるいは PDF などでお手元に保管ください。
一度提出された申請書類は、一切返却できません。また、過去の申請書類の照会、お問い合わせには対応いたしかねます。
- **申請書に虚偽あるいは偽造が認められた場合、認定医制度規則 施行細則 第 37・45 条により処罰いたします。**

＜送付時の注意事項＞

- 郵便局の簡易書留・一般書留、レターパック(赤)にて送付してください。
普通郵便あるいはレターパックライト(青)で送付し、何らかの事情で不着となった場合、申請書類提出期限後の再提出は認めません。

＜郵便局のレターパック(赤)で送付する場合＞

- ① 申請書類一式を A4 サイズ(角2)の封筒に入れる。
- ② ①の封筒のおもてに上記宛名を貼り付ける。
- ③ 封筒ごとレターパックに入れて投函する。

4. 指導責任者が表示されないとき

① 実際には在籍しているのに表示されない場合

→「認定医 MyPage」で登録している勤務先が貴施設になっていない場合は表示されません。認定医の方ご自身で「認定医 MyPage＞変更届」から変更を行っていただいてください。その上で、再度申請画面にアクセスください。

The diagram illustrates the process of logging into the '認定医 MyPage' (Certified Doctor MyPage) system. It shows a form titled '勤務先・送付先情報' (Employment and Mailing Information) with fields for 'メールアドレス' (Email Address), '勤務先' (Employment Information), '送付先' (Mailing Address), and '指導責任者資格' (Supervisor Qualification). The '勤務先' section includes fields for '認定研修施設番号' (Certified Training Facility Number), '名称' (Name), '科目' (Subject), '郵便番号' (Postal Code), '都道府県' (Prefecture), '市区町村' (City/Town/Village), '丁目／番地／建物名' (Block/Number/Building Name), and '電話番号' (Phone Number). An arrow points from the '認定研修施設番号' field to a screenshot of the '認定医 MyPage' login page, which shows the URL <https://mypage.jbct.jp/login> and a login form with fields for 'メールアドレス' (Email Address) and 'パスワード' (Password), and a 'ログイン' (Login) button. A text box below the login page states: '貴施設の認定研修施設番号が入力されていない場合は、「変更届」から更新が必要です。' (If the certified training facility number of your facility is not entered, you need to update it from the 'Change Notice').

② 退職・異動等により指導責任者が不在の場合

→ 返上の手続きをお取りください。

1) 下記 URL より『返上届』をダウンロードしてください。

<https://www.jbct.jp/facilities/extension.html#ReturnofCertification>

2) 返上届に必要な事項を記入し、公印を押印後、『認定研修施設 認定証』(折曲可)とともに郵送ください。

以上